

平成29年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	31	学校名	大淀高等学校
----	----	-----	--------

1. 取組名 やすらぎカフェへの参加（大淀町の認知症施策関連事業の共同実施）

2. 活動内容

「やすらぎカフェ」とは、介護や福祉をテーマに地域住民が交流することを目的に、大淀町主催で実施されている事業である。今年度大淀町のお声かけがあり、コミュニティ・スクール事業の一つとして、本校看護医療コースの3年生有志生徒（6名）がそのスタッフとして参加することになった。

今年度は平成29年11月11日に大淀町の美吉野園で、「知れば分かる！『認知症ってどんな病気？』～早期診断・早期治療が大切です～」をテーマに実施された。参加生徒はそれに向けて大淀町の担当者の方々と内容検討等の打ち合わせ、当日活用するウェルカムボード作成、「認知症サポーター養成講座」の受講、大淀町ケーブルテレビでのCM出演等の準備を重ねていった。

当日は、認知症講座・介護予防体操・事業所紹介・介護相談などの内容で行われ、本校生はスタッフとして参加者の皆さんのお世話をさせていただいた。また、コミュニティ・スクール紹介の場として大淀高校の案内掲示コーナーも設置させていただいた。

3. 成果と課題

参加した生徒からは、「認知症についての理解がすすんだ」「当事者の方の思いに触れることができてよかった」等々、前向きな感想が出されている。自分の進路に関わる内容で様々な学びができたことは、生徒にとって貴重な経験になったと評価できる。また、町内の認知症の状況を知ることから、地域課題への関心をもたせることもできた。さらに、準備段階から担当者の方々と打ち合わせを重ねて事業を作り上げることで、生徒自身の人間的な成長にもつながった。

課題は、準備期間が学校行事や進路決定の時期と重なり、生徒にとっては慌ただしいなかでの活動になったことがあげられる。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

実施時期については、大淀町・学校それぞれの事情があり、早い段階で準備を計画していくことが必要である。



大淀町との打ち合わせ



「やすらぎカフェ」当日 介護予防体操

